

No.147(一九八二年一月一・二日合併号)から
No.181(一九八二年二月二日)まで

No.147(一九八二年一月一・二日合併号)

◇巻頭言◇中道路線に未来はない

理論と実践について 向坂逸郎

一九八二春闘への基本視点 岩井章

情勢の特徴と当面の闘争課題

戦争政策を賛美する同盟方針案

ヒットラーもはじめは小さかった

―右翼勢力の増大に警戒を―

総評の準備会参加の論拠は崩壊!

―同盟執評があらためて「構想」を明記―

総評はたたかえばジリ貧になる?

―「総評の全的」労働統一綱領―

討議のための素材提起」の検討(一)

◇好評発売中◇岩井章・灰原茂雄編著

八〇年代労働運動と反撃の道

定価千五百円(千二百五十円) B6版三六〇頁

No.148(一九八二年一月二日)

◇巻頭言◇歴史をつくる迫力をもとう

一九八二年と社会党の進路

一九八二春闘の意義と課題

ポーランドの情勢について

シリーズ「ソ連脅威論」の虚構④

アメリカは「自由の国」か?

―第二次大戦前のアメリカの「反共主義」国鉄合理化が攻防の要

―再び行政改革とのたたかいについて―

号外のご案内

私鉄の仲間からのたより

緊急号外好評発売中(残部僅少)

一九八二年春闘への実践的提起

定価四〇〇円(郵送料含)

No.149(一九八二年二月一日)

◇巻頭言◇

「忘るなかれ、助けて長ぜしむるなかれ」
社会党大会にのぞむ

「社公合意」と公明党の新方針

日経連『労働問題研究委報告』批判(一)

三池労組が「準備会」参加に反対の「要請」

資料三池労組の「要請」書(全文)

職場実態を直視せよ ―総評『労線統一綱領への素材提起』の検討―

ワシントンのワニの涙

緊急号外好評増刷中◇ 八二春闘への実践的提起 定価四〇〇円(郵送費含)

No.150(一九八二年二月一日)

◇巻頭言◇教育反動には学習で反撃しよう

一九八二年度予算案を切る①

社会党委員長選挙が示したもの

総評の存在価値とは何か ―総評『労戦統一綱領への素材提起』の検討③―

総評の準備会参加の論拠は崩壊 ―同盟第一八回大会報告―

シリーズ「ソ連脅威論」の虚構⑤

巧妙になった「反共主義」 ―アメリカは「自由の国」か?②

緊急号外好評増刷中 一九八二春闘への実践的提起 定価四〇〇円(郵送費含)

No.151(一九八二年二月一日)

◇巻頭言◇大衆闘争の高揚をはかれ

同志よ、たたかいはこれからだ ―私鉄総連第三回中央委報告―

資料 私鉄総連の労戦統一への当面の方針

八二春闘勝利へ一万五千人が結集

―第一五回全国青年団結集会報告―

賃金論の学習で「生産性基準原理」に反撃を

―日経連『労働問題研究委報告』批判②―

八二年度予算案を切る②

高揚期に入った反ファッショ闘争

―チリ共産党六〇周年と

チリ人民のたたかい―

シリーズ「ソ連脅威論」の虚構⑥

ソ連の国際社会への影響力は低下した?

全水道の仲間へ

No.152(一九八二年三月一日)

◇巻頭言◇労働運動強化への視点
理論センター報告・中執原案にたいする附帯条件の意味するもの
資料「中執原案」への附帯決議(案)

◇社会党第四六回大会傍聴記◇ 飛鳥田新執行部ガンバレ!
「ロボット化」で失業の増大は必然

暗雲たちこめる「西側」の経済

◇編集部から◇

緊急号外「好評発売中 八二春闘への実践的提起 定価四〇〇円(郵送費含)

No.153(一九八二年三月一日)

◇巻頭言◇大衆闘争構築への三つの条件

社会党大会と労働運動 | 第四六回社会党大会と今後の課題—
社会党大会と青年問題 | 青対方針をめぐる経過と問題点—

ポーランドの神話とエルサルバドルの現実

生活が「整合性」論の破綻を証明

賃上げで不況は克服できるか?

シリーズ「ソ連脅威論」の虚構⑦ソ連の農業問題への基本視点

読者からのたより

緊急号外好評発売中

八二春闘への実践的提起

定価四〇〇円(郵送費含)

No.154(一九八二年三月二一日)

◇巻頭言◇資本の論理と労働者の生活
たたかいの成果を自覚しよう

—一九八二春闘と労働者階級の任務—

ブルジョアの賃金論の克服が春闘再構築の鍵

—ブルジョアの賃金論批判—

第一五回全国青年団結集会に参加して

国労は器用貧乏になるな

—国労第一三四回拡大中央委員会報告—

エルサルバドル干渉を準備するアメリカ

世界の失業統計

緊急号外好評発売中

八二春闘への実践的提起

定価四〇〇円(郵送費含)

No.155(一九八二年四月一日)

◇巻頭言◇行革の攻防の焦点は「国鉄問題」
行革、労戦再編成、軍備増強は一体
反戦運動の高まりと労働組合の任務
書評向坂逸郎著『嵐をついて』
真理は常に古くして新しい
シリーズ「ソ連」脅威論の虚構⑧
ポーランド問題と反ソ論⑤
だれがポーランドの安定を妨げているか

◇資料と解説◇

自民党国鉄基本問題調査会が
「二〇二億損賠」で強行意見
資料国鉄再建に関する
小委員会「中間報告」(二)
読者からのたより

緊急号外好評発売中◇

八二春闘への実践的提起
定価四〇〇円(郵送費含)

No.156(一九八二年四月一日)

◇巻頭言◇はげしさをます中米情勢

「ヤミ」「カラ」攻撃と国鉄労働運動
いちじるしい事実の誤認

◇資料と解説◇

京都府知事選で社会党左派が「反林田」にたつ
書評久保綾三・原野人著
『核問題入門』(十月社刊)

―現情勢に適した好著―

シリーズ「ソ連」脅威論」の虚構⑨

ポーランド経済危機の背景

―ポーランド問題と反ソ論⑦―

資料自民党国鉄調査

小委員会「中間報告」②

緊急号外好評発売中

八二春闘への実践的提起

定価四〇〇円(郵送費含)

No.157(一九八二年四月二一日)

◇巻頭言◇エルサルバドル、そしてラテンアメリカ

「ヤミ」攻撃を打ち破れ

◇資料と解説◇ 私鉄京成労組が国労への支援・連帯を決議

資料 国鉄労働者に対する集中攻撃に抗し、支援・連帯し、共に闘う決議

反帝国主義の視点が不可欠 — 軍備増強論への視点 —

社会民主主義か社会主義か — ミッテラン政権一年の軌跡 —

緊急号外好評発売中 八二春闘への実践的提起 定価四〇〇円(郵送費含)

No.158(一九八二年五月一日)

◇巻頭言◇八二春闘総括への視点

労戦問題へのゆくえとポイント／資料①統一準備会への参加について(総評一九八二年三月二五日)／資料②統一準備会運動方針・運営要綱素案／資料③準備会第四回事務局会議での一応の集約／資料④新規参加申し込み組織のとり扱い(準備会第四回幹事会)

◇民間の仲間から国労の仲間へ◇ たたかう国労に期待

学習が楽しみになった! — 山梨社研十周年記念集会の報告 —

新刊紹介

『続続首切り「合理化」を許さない!』

統一的な反撃への視点を示唆

シリーズ「ソ連脅威論」の虚構⑩ 欧州における戦中・戦後の反ソ・反共謀略

No.159(一九八二年五月一日)

特集一九八二春闘の総括視点と今後の課題

巻頭言◇臨調はなぜ「現代の枢密院」か?

座談会一九八二春闘をたたかって①

報告①一九八二春闘の総括視点

報告②いよいよはつきりした「行革」の本質

報告③労戦の動向とその特徴

報告④問題はらむ総評の素材提起

資料①J C 回答への鉄鋼独占の見解(一九八二・四・八)

資料②集中回答へのJ C 見解(一九八二・四・八)

資料③公労協の声明(一九八二・四・一四)

資料④民間労戦統一をめぐる報告と

要請について(総評一九八二・四・一三)

大衆闘争構築へのわれわれの努力

— 第三期第二年度次清掃事業直営化闘争総括

ソ連・イタリア共産党の論争について

No.160(一九八二年五月二一日)

巻頭言◇ホンネ発言つづける政府・自民党

◇八二春闘をたたかって②◇ 八二春闘の総括視点と今後の課題

報告⑤国鉄攻撃の本質とその実態

報告⑥露骨な総評の社会党への介入

討論国鉄攻撃は全労働者への攻撃

資料当面する諸問題に対する

われわれの態度(国労・動労・全施労・全動労)

◇読者からの投稿◇

ベテランの兄も「まいった」

シリーズ「ソ連脅威論」の虚構⑪ ベルリンの壁、そして二千語宣言

新刊「国鉄『再建』をめぐる基本問題」発行のおしらせ

No.161(一九八二年六月一日)

◇巻頭言◇総評指導部のペテンを許すな

党中央は現場のエネルギーを結集せよ — 京都府知事選の結果と教訓 —

座談会春闘をたたかって(三)

組合をつくり直す努力はどうだったのか

一九八二春闘の総括視点と今後の課題 —

◇新刊のお知らせ◇「国鉄『再建』をめぐる基本問題」

(行政改革と労働運動) 小林晃編著

◇好評発売中◇岩井章・灰原茂雄編著八〇年代労働運動と反撃の道

定価一五〇〇円(〒二五〇円) B 6版・三六〇頁

No.162(一九八二年六月一日)

◇巻頭言◇「フォークランド」紛争と世界史

「民営・分割化」の「脅し」に屈するな

権利はすべてたたかいたいとするもの

— 当局の改善命令とわれわれの反論 —

総評三顧問が左派結集を提唱

資料①総評三顧問が懇談会をよびかけ(全文)

資料②五・二〇三顧問としての問題提起(全文)

総評の同盟化を高く評価

— 日経連の春闘総括 —

春闘をたたかってどうであったのか

— 各職場で中間総括討論をはじめよう — 六月上旬刊予価千円(〒二五〇円)

国鉄『再建』をめぐる基本問題

No.163(一九八二年六月二一日)

◇巻頭言◇「フオーグランド」―

領有権をめぐる歴史的経緯

「行革」のねらいは国民の意識の改造 ― 第二臨調部会報告の本質―

広がる『資本論』研究会 ― マルクス生誕の日に交流・講演会―

青年たちが「反行革、国鉄第二マル生粉碎」の集会

シリーズ「ソ連脅威論」の虚構⑫ ポーランド「連帯」は何であったか

新刊好評発売中！予価千円(千二百五十円) 国鉄『再建』をめぐる基本問題

No.164(一九八二年七月一日)

◇巻頭言◇再び春闘総括の視点について

◇われわれの春闘総括◇「管理春闘」を打破するために

中ソ対立の現状と今後 ― 中ソ和解の道をさぐる―

◇民間の仲間から国労の仲間へ◇

国鉄攻撃は全労働者への攻撃

七百名の青年・婦人が総決起 ― 反「行革」・国鉄第二マル生粉碎集会の報告―

「最後の伝果病」を許すな

「四項目」で総評の再生をめざそう ― 総評三顧問、岩井氏中心に結束―

資料総評全労働者へのアピール(案)

国鉄『再建』をめぐる基本問題

定価千円(千二百五十円)

No.165(一九八二年七月一日)

◇巻頭言◇憲法改悪を許すな

座談会一九八二年運動方針案の検討⑤

問われる総評労働運動の路線

報告①「協議会」参加が労戦の中心課題に

報告②社会党への介入はさらに強化か

報告③だれのための運動方針か(総評)

報告④労戦問題で中連の解消も検討(電機労連)

報告⑤ITF加盟、「協議会」参加は

秋に臨時大会で(私鉄総連)

報告⑥言行の一致が課題(日教組)

◇われわれの春闘総括(国労東京保線所分会)

「ヤミ」「カラ」攻撃への反撃は十分か

シリーズ「ソ連脅威論」の虚構⑬

軍事的「脅威論」の現実

No.166(一九八二年七月二一日)

◇巻頭言◇行革、掘木訴訟、憲法第二五条

◇資料と解説◇

統一準備会が「全民労協」結成へ

資料「全民労協」の基本方針、運営要綱

デイトミトロフ生誕百年祭

組合大会方針案の検討④

報告⑦強い組合員の期待と批判(国労)

報告⑧総評強化への積極的行動が重要(自治労)

報告⑨企一、二号修正で路線の

全面見直しへ(全通)

報告⑩春闘総括に鋭い視点(全林野)

報告⑪全面的な合理化協力路線(全電通)

◇私たちの春闘総括(自治労富山)◇

大衆闘争構築の努力はどうだったか

本部が労戦で「修正案」うけ入れへ——日教組大会報告——

No.167(一九八二年八月一日)

◇巻頭言◇なぜ改憲、軍備増強か

階級的労働運動の旗手たれ！——国労第四四回全国大会の位置と課題——

全民労協「基本方針」と総評の立場

現情勢の特徴と労働者の任務

ソ連の「食料危機」はほんとうか

シリーズ「ソ連脅威論」の虚構⑭

「北方領土」問題と政府・自民党

国鉄『再建』をめぐる基本問題 定価千円(千二五〇円)

No.168(一九八二年八月一日)

巻頭言◇教科書検定は帝国主義的反動の一環

意識の成長が最大の課題——反核運動の現状と課題——

労働組合は民主主義の学校——(私鉄総連第四六回大会報告——

◇投稿◇大会での方針修正は再編成の歯ドメになるか

——日教組大会報告を読んで——

イスラエルのレバノン侵攻

——危機の時代に入ったアラブ世界——

シリーズ「ソ連脅威論」の虚構⑮

虚偽にみちたアフガン報道

No.169(一九八二年八月二一日)

◇巻頭言◇「行革」には真正面から反対を階級国家堅持の大会確認をふまえて

「社会主義像」の起草を！

資料日本社会党理論センター

「社会主義の構想」の四つの論点

組合大会をふりかえって

報告1 全民労協参加は秋の臨時大会で(私鉄)／報告2 反合問題で激論、原案修正へ(全林野)／報告3 史上もつとも緊張感のない大会(全電通)／報告4 六四組合が大
会ポイコット、流会へ(合化)／報告5 全民労協へ組織、活動を一元化(電機)
京都、大阪の仲間に負けるな ―「七・二一京都集会」報告―
破産の明らかかな「カンボジア連合政府」

No.170(一九八二年九月一日)

◇巻頭言◇大会確認は守られているか？―「社会主義の構想」の起草作業を見守ろう
総評内の矛盾はさらに激化―総評第六六回大会報告―

今こそ全電通の教訓を学べ―全電通大会から考えること―

行革、政治反動に強い危機感―全水道第三三回大会報告―

◇自治労運動方針を読んで◇

問われる交流とその強化

◇書評◇向坂逸郎著『愚者の道』 先生と共に面白い人生を歩みたい
読者からのたより

No.171(一九八二年九月一日)

◇巻頭言◇深刻さますます雇用情勢
労働者、勤労者への宣戦布告

―第二臨調基本答申の本質①

◇国労大会をふりかえって①◇

たたかう方向に一歩前進

労働者被曝に強い刺激

―原水禁大会に参加して―

ナショナルセンターとして実質スタート

―統一労組懇総会を傍聴して―

書評岩井章編著『総評の再生』

―幹部、活動家の待望の指針を提示―

アラファトとの対話

パレスチナの過去、現在、未来

No.172(一九八二年九月二一日)

◇巻頭言◇教育こそが最大の課題

「社会主義の構想」と民社党綱領

—科学的社会主義の理論は霧散—

階級闘争激化を自ら証明

—第二臨調基本答申の本質②—

◇国労大会をふり返って④◇

職場総点検で反撃体制確立をめざす

シリーズ「ソ連脅威」論の虚構⑩

中国の「ソ連脅威」論

No.173(一九八二年一〇月一日)

◇巻頭言◇ここでも教育が問われている

「人間解放」のなかに階級対立を解消

—弁解の余地ない大会確認違反—

反独占・反自民の戦線を結集せよ

—勤労国民の共感えられぬ「構想」—

ミッテラン政権の「独自性」

激動するヨーロッパの政治・経済情勢

◇アラファトとの対話②◇

パレスチナの過去、現在、未来

読者からのたより

岩井章編著B6版上製本四二八頁

—総評の再生—階級的労働運動の課題

定価一九〇〇円(千三〇〇円)

No.174(一九八二年一〇月一一日)

◇巻頭言◇イスラエルの暴虐を許すな

誌上討論①

労働運動をめぐる情勢と当面の任務

本部の変質に現場組合員が反撃

—全九電第二五回大会に参加して—

中国共産党一二全大会の意味するもの

◇アラファトとの対話③◇

パレスチナの過去、現在、未来

岩井章編著B6版上製本四二八頁

—総評の再生—階級的労働運動の課題

定価一九〇〇円(千三〇〇円)

No.175(一九八二年一〇月二一日)

◇巻頭言◇教科書問題は未決着

人勸「凍結」とわれわれのたたかい

◇誌上討論②◇

報告①労戦「統一」問題の現状と課題―総評再生の方途をさぐる―

報告②社会主義を放棄した

「社会主義の構想」―社会党理論センター「社会主義の構想」の本質―

◇アラファトとの対話④◇

パレスチナの過去、現在、未来

資料①組合民主主義と

大衆運動にもとづく労働

―運動研究センター試案―

資料②「中執原案」への附帯条件

No.176(一九八二年一月一日)

◇巻頭言◇たかが名札一枚と思うなかれ

社会主義の魅力棄てた「構想」

「実態点検手帳」を大衆闘争の武器に

シリーズン連脅威論の虚構⑩

日ソ中立条約とは何であったか

「暗愚の宰相」は何をしたか

日経連の「スト権付与」論について

創刊五周年にあたって

No.177(一九八二年一月一日)

◇巻頭言◇憲法無視の軍備増強論

大衆運動構築に着実な一歩

―社青同第一九回大会報告―

選挙闘争の戦略・戦術について①

「三単産」の〃選別〃は明らか

自動車労連が生産性運動を停止

チャイナ・シンドロームの前兆

「平和」の字が出ないことはない

―DDR留学一年を終えて―

◇アラファトとの対話(最終回)◇

パレスチナの過去、現在、未来

◇語録◇編集部から

No.178(一九八二年一月二一日)

◇巻頭言◇中ソ「和解」は世界を変える

勤労諸国民の実態をふまえたたかえ — 選挙闘争の戦略・戦術について② —

「反基地、反自衛闘争」をたたかうために

— 社会党を支持する青年共闘運動で学んだもの —

戦線の広がりには自信と確信 — 社青同全国大会に参加して —

シリーズ「ソ連脅威論」の虚構⑬

北洋漁業を脅かすのはだれか

資料①向坂逸郎社会主義協会代表と

「青年の声」編集部インタビュ

「構想」は社会主義を否定するもの

資料②全民労協発足にあたって(造船重機労連)

語録

No.179(一九八二年二月一日)

◇巻頭言◇火花は焰になる!

社会党第四七回大会について

ソビエトの政策は変わらない

統一地方選をこうたたかおう — 選挙闘争の戦略・戦術について③ —

◇座談会当面する労働運動の任務と課題④

面白くなってきた労戦再編成問題

◇たたかいの記録と報告

①たたかいのなかで反合闘争の意義を自覚 富山県農協労のたたかい④

No.180(一九八二年二月一日)

◇巻頭言◇「皆で話し合い、皆で決めて、皆で実行!」

一九八二秋闘を反撃の突破口へ

中曽根政権の成立と

社会党第四七回大会の課題

資料社会党理論センター報告への意見書

「われわれをめざす社会主義の構想」に反対するひろがる沖電気闘争の意義

— 十二月十一日に「四周年集会」 —

闘いの記録と報告富山県農協労の闘い⑤

独占、そして資本はなんでもする

岩井氏の講演に感銘

— 神奈川でも闘う労戦統一をめざす大集会

「社会通信」五周年おめでとう

語録◇読者からのたより◇編集部だより

No.181(一九八二年二月二日)

巻頭言◇国労は「職場抵抗闘争」でたたかう
前進を示した日教組のスト権批准

全民労協の本質とわれわれの任務について
資料社会党理論センター報告への意見書(常松裕志氏他一四名)

「われわれのめざす社会主義の構想」に反対する①

◇座談会当面する労働運動の任務と課題②
敵もぎびしい、工夫を尽くし足腰を強めよ

◇投稿朝鮮統一青年国際会議から考える◇
必要な反帝連帯の基調と組織確立

◇たたかいの記録と報告③
全通の仲間からの報告◇

闘争方針を確立し、粘り強くたたかおう

◇語録◇編集部からのたより